

議会定数調査特別委員会 審査報告

令和7年12月15日に議長より諮問を受けて、令和7年12月定例会において、議員定数調査特別委員会が設置されました。特別委員会では「市の重要な意思決定に関する議決や、調査などの権限を適切に行使していくために、必要かつ適正な議員定数」について、1月15日から5月25日までの間に7回委員会を開催し、特別委員会で答申を行いましたので報告をいたします。

【審査の主な論点】

1. 人口減少と議員定数の関係

平成10年と令和8年を比較すると、【(議員数) 32%減 (人口) 29%減 (職員数) 10%減】

現在のところ、議員数は人口減少を上回る削減を行っています。

一方、職員数が人口減少率と比較して減少していない要因として、人口が減っても業務数は減らないということが挙げられます。このことについては、議員数についても同様のことではないでしょうか。議員の仕事の一つとして行政事務のチェックがありますので、人口減少を理由とした議員数の削減には一定の限度があると考えます。

2. 議会のあるべき姿

議会のあるべき姿とは、二代表制での「住民意思を聴取して議論をすること」「地方自治体の意思決定を行うこと」「地方自治体の業務の執行を監視すること」などの議会の役割を実現できる規模が必要と考えます。

3. 常任委員会の設置数

専門性を高めて、より深い議論をするために「総務文教委員会」「産業厚生委員会」の2委員会の維持が必要と考えます。

4. 常任委員会の定数と委員長の役割

委員会の委員長の役割は、議事の円滑な運営が挙げられますが、委員長も市民の負託を受けた議員であり、採決の場においては意思表示の機会が必要との考えにより奇数である7人と考えます。



5. 議長の役割

議長の役割は、「議場の秩序を保持し、議事を整理し、議会を代表する」となっており、市議会全体の円滑な議事運営があげられます。しかし、現状では議長は一方の委員会にのみ参加しており、全体が把握しにくい状況です。そこで本委員会では、議長は委員会に所属せずにオブザーバーで参加することにより、全体把握ができるものと考えます。

【以上のような検討を行った結果】

「総務文教委員会・産業厚生委員会の2委員会制で、委員会の定数をそれぞれ7名とし、議長を委員会に含めないという体制が適正であり、多久市議会議員の適正な定数は15人である」という結論に至りました。

議会のあるべき姿を基にした議員定数の答申となりましたが、本委員会では、人口減少を根拠にした議員削減を求める声が出ていることも承知しており、そのような声の原因として、議会・議員活動の説明責任不足があげられる。こういった声が上がらないように議員一人一人が市民との対話や説明責任を果たし、市議会を活性化させることが必要とも答申に付記しました。



多久市議会出前授業



議員がゲストティーチャーとなり、市内義務教育学校3校をそれぞれ訪問し、社会科で政治を学ぶ6年生に議会の仕組みと役割などの授業を行いました。



Check!

01

子どもたちからの質問

他の市議会との交流はありますか？

多久市の今の一番の課題は？

学校統合の話は？

今、市ではどんなことに取り組んでいますか？



Check!

02

要望

- 後期校舎のトイレを洋式にしてほしい
- 野球場を新しくしてほしい
- 陸上競技場を人工芝、ラバーにしてほしい

Check!

03

多久市はどんなまちに なっていきたいですか？

- 賑やかで笑顔が絶えない市になってほしい
- みんなが元気で安全に過ごせる明るい町になってほしい
- 人が沢山増えて明るく元気な町になってほしい
- 住みやすく楽しい町になってほしい



Check!

04

出前授業を聞いて、 どう感じましたか？

- 市や町のことをしっかり考えていて市議会は提案に対して真剣に考えているんだと思いました。
- 市議会の仕組みや構成が良く分かったし、みんなの質問でこれからどうなるのかがとても分かりました。楽しかったです。
- 議会のことが分かったので、子ども議会に参加してみたいと思いました。

